

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

| | | | |
|-------------------|---------------------------------------|--------|------|
| ① 施策名〔施策小〕 | 4 高い市民満足度が得られるサービスの推進 | ② 施策番号 | 5305 |
| ③ まちづくりの方向〔政策(章)〕 | 6 みんなでまちづくりに取り組むまち | | |
| ④ 基本施策〔施策大(節)〕 | 2 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします | | |
| ⑤ 基本的方向〔施策中〕 | 1 行政経営の高度化 | | |
| ⑥ 担当部名 | ⑦ 担当課名 | | |
| 都市整備部 | 住宅公園課 | | |

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

| | |
|--|--|
| ① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか) | 市民 |
| ② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか) | 施設に求められる性能・要求の実現、施設の抱える問題点の解決、経済社会状況の変化に対応した施設への適切な対策により、市民満足度の向上を目指す。 |
| ③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか) | 既存ストックの老朽化問題については国・府とも共通して抱えており、今後益々深刻化していくと考えられる。 |

[2] 施策指標及び推移

| 施策指標(成果指標) | 単位 | 指標とした理由・考え方 |
|----------------------|-------|---------------------------------|
| ① 整備施設数(工事のみ) 計算式 | 整備施設数 | より効率的に、多くの施設の改善を実現する |
| ② 出席回数 計算式 | 回 | 積極的に参加することにより、職員の意識やスキルの上昇へつなげる |
| ③ 計算式 | | |

| 指標名 | 単位 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | R2目標 | 備考 |
|---------------|----|-------|-------|-------|-------|------|----|
| ① 整備施設数(工事のみ) | 施設 | 目標値 | 20 | 24 | 24 | 22 | |
| | | 実績値 | 12 | 14 | 5 | — | |
| | | 達成率 | 60.0% | 58.3% | 20.8% | | |
| ② 出席回数 | 回 | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |
| | | 達成率 | | | | | |
| ③ | | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |
| | | 達成率 | | | | | |

[3] 施策を構成する事務事業

| | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 総事業費(千円) | | | 事務事業評価結果 | | 重点化 | |
|---|------------|-------|----|-------|-------|----------|--------|--------|----------|------|-----|--------|
| | | 指標名 | 単位 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | 総合評価 | | 今後の方向性 |
| 1 | 施設改善事業 | 整備施設数 | 施設 | 14 | 5 | 22 | 23,510 | 20,268 | 20,268 | A | ア | ◎ |
| 2 | 各種公共施設整備事業 | 会議回数 | 回 | 6 | 6 | 6 | 728 | 572 | 572 | A | ア | |
| 3 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 2 | | | | | | 24,238 | 20,840 | 20,840 | | | |

3. 施策の評価

| 評価の視点 | 説明・コメント等 |
|--|---|
| ①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのよう貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。) | 社会構造の変化に伴う新たな行政需要や、市民ニーズの多様化に対応するため、限られた予算を、最も効率的に使用して施設の改善を行っていくことにより、行政経営の高度化に貢献すると考えられる。 |
| ②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。) | 何らかの対策が必要とされている施設の箇所に対し、改善が実現する箇所が例年半分程度であり、達成率が低い。 |
| ③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。) | 公営住宅法に基づき、市が供給する施設であるため、市が主体的に関与する必要がある。 |
| ④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。) | 必要と考えられる事務事業で構成されている。 |
| ⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。) | 施設の老朽化が進む中、市のFM計画の取り組みと整合を図りつつ、「各種公共施設整備事業」を重点化していく必要がある。 |

4. 一次評価(所管課評価)

| 一次評価 | 評価(A~D) | 課題等 | A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある |
|------|---------|---|---|
| | B | 現在、要求内容及び予算額に応じ、できる限り効率的に計画、執行していくこととしているが、今後、施設の改善と並行して予算を確保していくこと。 また、建築営繕業務に精通した職員が必要となる。 | |

5. 改革、改善案

| | |
|-------------------------------------|---|
| 即時的対応 (すぐに取り組む改善案) | 設計内容の精査、及び工事における品質管理の更なる向上。 |
| 短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案) | 予算化・事業化の前に、担当課や施設の要求内容について、これまでよりさらに検討を行うことにより、効率 |
| 中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案) | 事前保全を含め、市の保有する建築物を一元化して管理することができる組織・体制の検討。 |

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

| 二次評価 | 評価(A~D) | 課題等 | A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある |
|------|---------|---|---|
| | B | 施設への整備実施を通じた維持管理について適切に取組が行われている。 今後、老朽化対応に係る整備事業は増加していくことが予想され、施設所管課と調整を図りつつ効率的で効果的な事業実施による施策達成に向けた取組を進められたい。 | |